

【スーパー讃岐っ子育成事業とは】

将来、日本や世界で活躍し、夢や感動を与えることができるアスリートの育成を目指す事業です。香川県内の小学4、5年生を対象に、書類審査や体力測定により優れたスポーツの素質を有する子どもたちを発掘し、関係団体と連携・協力を図りながら、専門的な指導者によるさまざまな育成プログラムを行います。中学生になったスーパー讃岐っ子はシニア事業に参加することになります。

(参照) "スーパー讃岐っ子育成事業について". 香川県教育委員会.

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/hokentaiiku/taiiku-sports/sports/sanukikko.html>, (2026/3/27).

【四国学院大学と香川県による包括連携・協力に関する協定】

2013年度に、本学と香川県は包括連携・協力に関する協定を締結致しました。

この協定は、双方が有する人的・物的・知的資源を連携・協力して活用することにより、地域課題の解決を図り、個性豊かな地域社会の形成および発展に寄与することを目的としています。

本学と香川県は、これまでも様々な事業に連携して取り組んできましたが、この「スーパー讃岐っ子育成事業」においても協定に基づき、本学の教員（専門分野：スポーツ科学）が、スーパー讃岐っ子育成委員会の委員として専門的な知見を活用し、スーパー讃岐っ子の選考、スポーツ体験プログラムや育成プログラムについて、実施計画の策定・遂行、事業成果の検証・改善等を通じて、この事業の運営に協力しています。

また育成プログラムにおいて、本学キャンパスを会場とする講座を、この教員が実施しています。

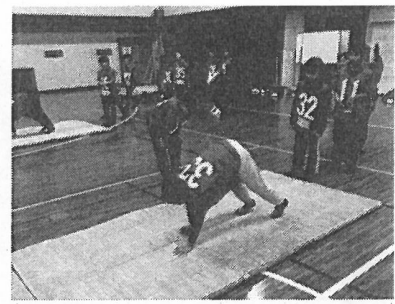
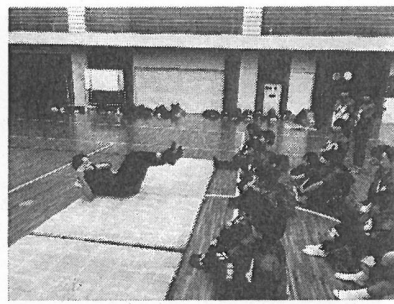
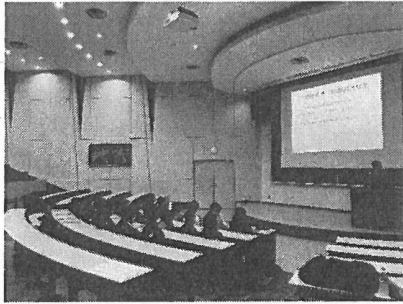


【2025年度の活動報告】（「スーパー讃岐っ子育成事業 2025年度 第3回育成委員会」資料より抜粋）

【第16回】令和8年2月14日（土）18:00～20:00 「四国学院大学」

16期生

【栄養学Ⅱ／体づくり】 四国学院大学 漆原 光徳 先生／担任



今回は四国学院大学副学長の漆原先生による栄養学の講義と体づくり運動を行いました。栄養学の講義では、食事・運動・休養など小学生の時に大切なことを中心にお話をしてくれました。大谷翔平選手のゴミ拾いをする様子を例に挙げ、競技力だけでなく人として成長して応援される選手にぜひなって欲しいと声をかけていただきました。

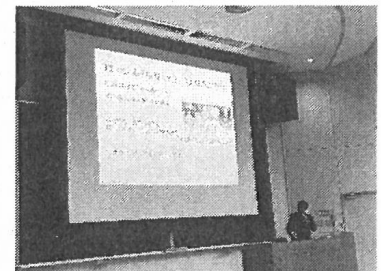
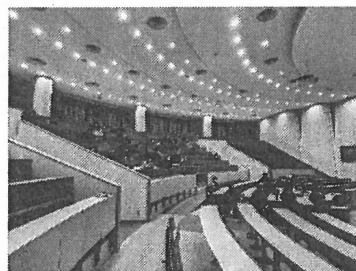
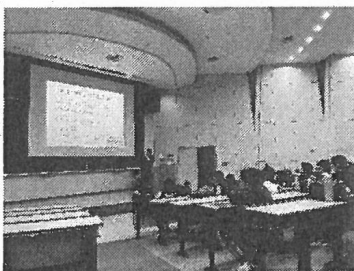
講義のあと、体育館に移動し、短い時間でしたが、担任による体づくり運動を実施しました。アップでは、家でもできる体の動かし方をテーマにストレッチや、ジャンプ補強、片足での軸作りのトレーニングを実施しました。その後、マット運動を行い、動物の動きを真似しながら体の柔軟性、使い方について学びました。前転をして起き上がる時に片足で立つなど、少し難しい技にもチャレンジしました。

また体づくり運動をしている間、保護者の方々には引き続き、漆原先生のお話を聞いていただきました。講義終了後も質問をする保護者の方々もいっしょに、有意義な時間だったと感じています。

【第10回】令和8年2月21日（土）18:00～20:00「四国学院大学」

17期生

【ユニホック・カローリング／栄養学Ⅰ】 四国学院大学 漆原 光徳先生



第10回プログラムは四国学院大学の漆原光徳先生による「栄養学」とユニホック・カローリングを行いました。

漆原先生の講義では、よく食べて、よく寝て、体を大きくすることや、体だけでなく心も成長させて、応援されるアスリートになることなど、たくさんのお話がありました。

保護者は引き続き、栄養についての講義を受けましたが、子どもたちは体育館に移動してユニホックとカローリングを行いました。ユニホックでは初めて使うスティックの操作にとまどったり、カローリングでは力加減がなかなかつかめなかったりしましたが、チームで協力して、初体験のスポーツを楽しむことができました。